

令和5年2月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

中島 浩介 議員

教育振興について

(1) スクールカウンセラーの配置について

スクールカウンセラー未配置の学校から、必要な時にすぐに対応できるよう、配置をしてほしいとの声があるが、現在小中学校における配置状況はどのようなになっているのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

令和4年度のスクールカウンセラーにつきましては、小学校では312校のうち148校に配置し、また、中学校では、168校のうち142校に配置しているところであり、全体の配置率は約60パーセントとなっております。

厳しい県の財政状況の中、全ての学校への配置が難しいことは理解するが、必要な子どもたちに応えていく必要がある。今後、スクールカウンセラーの配置充実に向け、どのように取り組んでいくのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

現在、スクールカウンセラーの配置については、市町の希望等に基づき、原則小学校、中学校それぞれに学校単位で配置することとしております。この手法では、特定の学校に対し、手厚く支援できる一方で、限られた予算の制約から、未配置校が生じるというデメリットがございました。

このような課題を踏まえ、新年度からは、学校単位の配置ではなく、中学校と同一地区内の小学校を一つのグループとし、グループ単位で配置することとしております。このように見直すことで、小中学校全体の配置率はこれまでの約60パーセントからほぼ100パーセントとなる見込みです。

これにより、児童生徒や保護者の悩みを、幅広く速やかに受け止めることができるようになり、小・中学校における切れ目ない支援の充実に繋がるものと考えております。

(2) 小学校の担任が休職した際の対応について

小学校の担任が休職に入った場合、代替教員を配置すると思うが、どのような現状かお尋ねしたい。

(教育長答弁)

県内の公立小学校において、担任が出産や病気による休職等に入った場合、代替教員を配置しておりますが、本年1月末時点で29名の代替教員を配置できず、代わって校内の専科教員や教頭等が指導している状況があります。

代替教員の確保に向けて、今後どのようなことに取り組むのかお尋ねしたい。

(教育長答弁)

代替教員を確保できない背景としては、ここ数年の代替者のなり手不足があります。一方で、昨年7月に教員免許更新制度が廃止され、免許を失効した方も簡易な手続きで再度免許を取得できるようになり、代替教員の確保に繋がるのではないかと考えております。

このようなことから、過去に教員免許を取得された方がスマートフォンなどから簡単に登録し、求人情報や現在の学校の情報を取得できるマッチングシステムを新年度、新たに構築するとともに、教壇に立つ前の事前研修会の実施や、不安や悩みに寄り添うサポート体制の整備などを一体的に進めることにより、代替教員の確保に努めてまいります。